

# 犀川

～感動する心  
つなげる心  
やり抜く心～

HP版

令和7年4月4日  
校長 堀金 猛  
安曇野市立明科中学校



## 令和7年度が始まりました

新1年生44名、職員4名を迎え、落ち着いた雰囲気です。明科中学校の令和7年度がスタートしました。

ここでは、始業式での堀金猛校長の講話を一部要約して紹介します。

今日から、72日の1学期が始まります。1学期のスタートに当たり、明科中の生徒に常に大事にして欲しいことを2つお話しします。

「見えないもの見ようとする生徒になってほしい」

光があたらずに、痩せて育った一本の麦の根っこ、細かい髭のような小さな根、「根毛」と言いますが、それらすべてつなげると、どのくらいの長さでしょうか。ある研究によれば、それは何mという単位でなく、東はロシアの端から西のヨーロッパまで、ユーラシア大陸の長さくらいになるそうです。地中の私たちの見えない所で、植物はこれほどの長さの根が生長の営みをしています。

同じように、人の心の根毛のような繊細な部分は見えません。それを、掘り返して見ようとするのはよくないことも、皆さんは分かっていると思います。しかし、自分の視野で見えるもの、自分が「こんな人だ」という相手についての捉えだけでなく、例えば自分以外の人の姿やものを見たり、その人の見えない思いを考えたり、今まで見ていたものの意味を考え直したりすることで、地下で起きている麦の根の営みのように、自分自身、そして相手の心や営みも豊かになります。「見えないものを見ようとする心」「感じようとする心」をもつ生徒になってもらうことを期待します。そうすれば、不安に思っている勉強や仲間との関わり、トラブルに対する解決の糸口が見えてくると思います。

2つめです。「自ら学び、行動することは、人に安心感を与え、人の役に立つ」ということです。ファーストペンギンという言葉を知っていますか？ドラマにもなったそうです。ペンギンは集団、群れで行動し、リーダーもいないそうです。その群れの中から、自分たちを食べてしまう天敵がいるかもしれない海へ、魚を求めて最初に飛び込むペンギンをファーストペンギンと呼ぶそうです。全てのファーストペンギンが、自ら海に飛び込む「勇気」をもっているわけではないようですが、食べられるリスクがあっても、自分が先に海に行くことで、多くの餌を食べられるメリットがあると、よく「勇敢さ」を示す事例として紹介されます。私は、ちょっと視点を変えて、後に続く群れに着目しました。ファーストペンギンの行動の後、ペンギンの群れがどんどん海へ入っていく、多くの群れの仲間達が、安心して餌を食べにいく行動が見られます。ファーストペンギンの先に立つ行動は、自分のためだけでなく、群れ、つまり仲間の安心感をつくっているのだと思います。

1時間の授業でも、学級活動、生徒会活動でもここにいる一人一人が、自ら、時にはファースト、時にはそれを信じて一緒に歩むフォロワーになっていくことで、人に安心感を与え与えられ、人の役に立つよろこびを感じてほしいと思います。自ら考え、行動し、人の役に立ち、人とともに生きるよろこびを感じながら、この伝統ある67年目の本校を創り上げてほしいと願います。本校の学校教育目標「感動する心」「つなげる心」「やり抜く心」を高められるよう、ともに頑張りましょう。

# 令和7年度明科中学校のグランドデザインです



## 朝部活の自主練習を見守ってくださる方(巡回員)を募集しています

現在安曇野市の中学校では、原則朝の部活動は実施しておらず、明科中学校では火、木、金曜日の7:30～8:00の間、生徒が自主的に練習をしています。その際各部を巡回し、見守ってくださる方を募集しております。火、木、金の全部でなくても結構ですので、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、明科中学校 教頭(0263-62-2133)までご連絡ください。ほんのわずかですが、安曇野市より謝礼金も出ます。

### ・・・・・・・・明科中学校からのお願い・・・・・・・・

総合的な学習の時間では、地域に出て本物から学ぶことを大切にしています。突然生徒がお声がけするようなこともあろうかと思いますが、ご協力お願いいたします。(文責：教頭 志水 宏靖)